

広げよう！ ～ 関わり・学び ～

福山市立日吉台小学校
4年学年通信 No. 12
2022年(令和4年)10月21日

社会科「自然災害からくらしを守る」

社会科「自然災害からくらしを守る」では、2018年の西日本豪雨での広島県や岡山県、福山市の様子から、「自然災害に備えて自分たちはどんなことができるだろう」と学習問題を設定しました。自分の身は自分で守る「自助」や地域や学校といった周囲の人たちと協力して助け合う「共助」、福山市や広島県、国による救助・支援である「公助」について知識を広げているところです。

先日、地域の防災士の方々にインタビューをして、地域で防災について取り組んでおられることや、日ごろから災害に備えて用意していたらよいものなどについて教えていただきました。教科書やタブレットの情報だけでなく、地域防災に携わっている方々から直接お話を聞ける貴重な時間になりました。



インターネットだと日吉台での災害への取組はあまり出てきませんでした。地域の防災士さんから地域のことや福山市との関係をいろいろ教えてもらってすごくよかったです。
(水成 真翔)

地域の防災士の人が詳しく丁寧に教えてくれました。自分たちの知らないところで地域のことを考えて活動している人がいると知って驚きました。
(藤岡 到)



広島県は、「土砂災害警戒区域」が全国で一番多くあり、日吉台小学校区も警戒区域に属していることを確認しました。「重ねるハザードマップ」を活用して災害時の行動想定を行い、「自分たちはどんなことができるだろう」とふり返っています。